

CASBEE 新築 [簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 (使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	仮称北花田サービ付高齢者向け住宅	階数	地上4F
建設地	堺市北区北花田町2丁196-1 他3筆	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、一種住居専用地域、準防火地域区分Ⅲ	平均居住人員	85人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年4月 0.0	評価の実施日	2013年8月10日
敷地面積	1,656 m ²	作成者	則包勝典
建築面積	1,007 m ²	確認日	2013年8月19日
延床面積	3,564 m ²	確認者	西村誠



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)								
<p>BEE = 1.3 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>① 参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>② 建築物の取組み</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>③ 上記+②以外の</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>④ 上記+</td> <td>96%</td> </tr> </table> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	① 参照値	100%	② 建築物の取組み	96%	③ 上記+②以外の	96%	④ 上記+	96%	
① 参照値	100%									
② 建築物の取組み	96%									
③ 上記+②以外の	96%									
④ 上記+	96%									

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q のスコア = 3.4		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 4.0
LR のスコア = 3.1		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物全体が高齢者専用共同住宅の観念から、建物を低層に押えて層間は可能な限り共有スペースに集まっていたり、イベント並びにレクリエーションをしていただくようにスペースを確保し、各個室での省エネに配慮したと共に屋外並びに屋上に可能な限り緑化スペースを確保し、居住者の方並びに近隣住民の方たちとの調和を考えたデザインを用いた。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
室内環境の向上為、可能な限り☆☆☆☆建材を採用した。	劣化等級並びにメンテナンスの位置に配慮し耐久性とプライバシーに配慮した。	可能な限り緑地スペースとし近隣との調和に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
設備システムの高効率化を図った。	有害物質を含まない建材の採用を行った。	建物を低層に押し通風並びに緑化スペースの確保により近隣住宅への配慮を行った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	仮称 北花田サービス付高齢者向け住宅	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区北花田町2丁196-1他3筆	1.3	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 3,564.00 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	4	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.1	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2. 1. 3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		2.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.9	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		4.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値		5.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		5.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	